

## 市債残高及び将来負担比率の推移

(単位:百万円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
市債残高	20,385	19,920	18,411	17,354	16,862

(単位:%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
将来負担比率	18.9	4.8	—	—	—

市の借入金である市債の残高は、学校の大規模改修や庁舎建設事業等の大型事業を実施した平成26年度以降、発行額を抑制したことにより減少傾向となっています。また、それらの事業の償還も着実に進んでおり、令和6年度は地方債現在高の額が前年度比で4億9,200万円減少しました。

将来負担比率は、現在抱えている負債が将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す指標です。新たな借り入れの抑制と、過去に借り入れを行った大型の建設工事の償還を進めたことにより、将来負担額を充当可能財源等の額が上回り、将来負担比率は算定されていません。これは、将来の負担がない状態であるといえます。